

努力賞

柳田 邦男先生へ

荒川区立汐入東小学校 五年

石田 舞桜

私は、宮西達也さんの、「いちばんあいされて
るのはぼく」という本を読んで、とても温かい愛
情的な物語だなと思いました。

最初、五つの卵があり、全て食べてしまおうと
思うティラノサウルスは、ひび割れてきているこ
とに気づきます。ここでパパにされてしまうティ
ラノサウルスに、私は少し感動しました。なぜな
ら、文句を一つもつけずに引き受けたからです。
私だったら、無視をしてしまったり、すぐ食べて
しまおうと思います。さらにその五匹に名前をつけ
ました。それが、「愛してる」からとっていて、ア

ー、イー、シー、ティー、ルーでした。私はここで、
ティラノサウルスは凶暴なだけではなかったとい
うのが改めてわかりました。この本に出てくるテ
ィラノサウルスは、全匹をいちばん愛してあげて
います。ですが、ルーがとつぜん、「あいされてい
るのはぼくだけだ」と言い始めてしまいました。
そんなとき、四匹のうらみからか、ルーががけの
下に落ちてしまいました。ティラノサウルスの気
持ちになってみると、ルーを夢我夢中で探してい
ると思います。なぜなら、自分の息子の存在だっ
たからです。ルーは無事助けたされましたが、そ
れと入れかわりにティラノサウルスが、土砂の下
じきになってしまいました。このときの五匹は相
当悲しかったと思います。なぜなら、親の代わり
ですが、親同然だったので、父親をなくすという

ことが辛いからです。親しい人が急に死んでしま
うのは、経験したくもないです。

そして私はこの本を読んで、ちゃんと人に思い
やりを持つとうと思いました。人には冷たくしてし
まってることが多いので、これからは人を助けら
れるような人になりたいと思いました。

そう思う気持ちになるので、ぜひ読んでみてく
ださい。